



藤原 充博 議員

質問 インパクトのある 若者住宅建設を

町長

若者受け住宅を整備するのは重要

質問 子育て支援策をたくさんやっているが本当に支援になっているのか、子育て世代の人がどの様に感じているのか、支援策をどう思っているのか、町はどう把握しているのか。

町長 国の制度改正を受け、新たに子ども・子育て支援事業を策定し現在進めている。計画策定時にこれまでの子育て支援策を分析、評価し、子育て実態や子育てに関するニーズのアンケート調査を行い、内容について、子ども、子育て会議から意見をいただき計画に盛り込んでいく。今後現在の子ども、子育て支援事業計画の評価においても、計画期間最終年度に支援策等について町民の意見や感想をま

とめ、子ども子育て会議での議論を経て評価を行い、次期計画策定の際の参考に

質問 本町の予算における民生費は約15%、教育費が4〜5%だが、先般、視察に行った町では、民生費が予算の23%、教育費は11.6%だ。

未来のためにいろいろな施策をしていくには民生費と教育費の比率を見直すべきでは。

町長 予算編成は町民福祉の向上を念頭に置き、歳入の確保と住民負担の公平と適正化に努め、総合戦略の推進、地域の課題、皆様からの要望に最大限応えるよう効率的な予算の編成、執行に努めたい。

質問 若い世代を増やすにはインパクトのある施策が必要だ。統合小学校にし、三成小、布勢小に、インパクトのある若者用の住宅建設をしたらどうか。

町長 町営住宅の建てかえ等には、現代の生活スタイルに配慮した若者受けする住宅を整備し、若者の定住促進を図っていく事が重要と考える。公営住宅等の課題と整備方針の中にも盛り込んでいく。

入居対象者が新婚家庭や子育て世代が主になると思うので、若者の生活スタイルにマッチした改修を心がけていく。



魅力あふれる一戸建若者向け住宅（岡山県奈義町）